

大橋町政の軌跡

大橋前町長が就任時に掲げた「8つの基本プラン」とともに3期12年の功績を振り返っていきます。

一・教育体制の充実

公立保育園・幼稚園を幼保連携型認定こども園へ移行し、保育および教育ならびに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を推進しました。さらには、小・中学校の児童・生徒に対し、ひとり一台のタブレット端末を導入し、ICT教育の基盤を整え、人財育成に尽力しました。

一・行政組織・機構の改革によるサービスの向上

行政システムをスリム化し、ワンストップ窓口の開設やマイナンバーカードを用いたコンビニでの各種証明書交付の導入により、行政サービスの向上を図りました。

また、特命事項推進監を配置し、町が直面する課題について、所属する部や課を越えて、横断的に議論できる組織づくりを行いました。

一・財政改革の推進

町民プールをはじめとした公共施設の今後のあり方について検討し、「選択」と「集約」を押し進めることで、コスト削減を図りました。さらに、町有地の効果的な利用について考えることで、無駄のない経営を推進しました。

また、平成20年より開始した「ふるさと納税制度」による年間寄附金額は、平成29年度には1億円を、令和3年度には10億円を越え、貴重な財源を確保することに成功しました。

一・地場産業の振興

「まるごと肉まわり養老」の開催などにより食肉産業を推進するとともに、「新食肉基幹市場建設推進室」を設置し、新市場の早期建設に向けた取り組みを推進しました。

また、消費拡大や地域活性化を図り、全国にまちをPRするため、魅力ある商品・製品を「養老町特産ブランド」として認証しました。

その他にも、町独自のスマホアプリ「養老Pay」の導入やテレワーク施設「YOROffice」を開設するなど、デジタルトランスフォーメーションへも積極的に取り組みました。

一・住みやすいまちづくり

公共交通機関として、オンデマンドバスを導入し、町内の各所にバス停を設置することで、歩いて動けるまちづくりを推進しました。また、養老ICや養老SAsマートICを新設したことにより、企業誘致にも成果が現れています。

町民との協働のまちづくりを実現するため、地域自治町民会議の設立にも尽力し、人と人、人と地域の絆を大切にし、地域の活性化を図りました。

さらに、出産後の母子に対する支援強化のため、産婦健康診査を行い、妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援を実現しました。また、子育て世帯を支援するために、子どもの医療費の無償化を18歳まで拡充しました。

一・緑豊かな生活環境を守る

町民の皆さまと力を併せて、クリーン活動やごみの減量のセミナーを開催し、まちの美しい自然環境を守る

ための取り組みを行いました。また、ごみカレンダーの配布や小型家電の回収を行うことなどにより、分別や減量を啓発しました。

一・男女共同参画の推進

女性職員を管理職へ積極的に登用しました。また、女性のキャリアアップセミナーを開催することで、子育てと仕事の両立を支援しました。

一・町民の命を守る

東日本大震災を教訓に、地域防災力の強化を推進するため、ハード面としては大巻地内へ防災ステーションを建設し、ソフト面としては町内各地区で防災講習会を開催しました。併せて防災情報発信の強化を図るため、行政防災無線のデジタル化を推進するとともに、スマートフォンでのコミュニケーションアプリとも連携しました。

また、南直江に排水機、烏江に樋門を設置することで、台風などによる大雨への対策も講じました。

そしてやはり、大橋町政は「養老改元1300年祭」の開催をなくしては振り返ることができません。孝子伝説に「養老改元を加味すること、歴史、水、健康、若返りといったテーマを加えた新たなまちの魅力を確認し、それらを広く発信することで、交流人口の拡大や地域活性化に大きく寄与したといえます。開催した平成29年は、町全体が大いに盛り上がり、町民の皆さまとともに祝う一年となり、100年後の後世まで語りつがれる事業となりました。

退任のあいさつ

任期満了により昨年の12月14日をもって3期12年にわたる養老町長の職を退任いたしました。

この間、町民の皆さま、町議会議員各位、職員の方々の皆様をはじめ、関係各位のご協力、ご厚情に心より感謝申し上げます。

私が就任した2010年当時はバブル崩壊後20年が経とうというのに、いまだその後遺症が残り、閉塞感が漂う状況にありました。この停滞ムードを打開するには養老町民が一丸となれる一大イベントが必要だと考え、養老改元1300年祭の開催を決定いたしました。「養老改元1300年祭」は町内外に相当なインパクトを与え、開催に向けて東海環状自動車道・養老ICと名神高速道路・養老SAsマートICの開通、(仮称)橋爪大橋の事業化にも繋がりました。「養老改元1300年祭」の成功は町民が同じ目的に向かって協力し、努力すれば、その町の難題を解決できる事を実証した成果だと思っております。

現在、養老町では大変なスピードで人口減少、少子高齢化が進行しております。新町長が中心となり職員、町民が一丸となって、知恵を出し合い、工夫することによって、必ず克服できると信じております。養老の誇り高い歴史と豊かな自然が「養老改元1400年祭」を迎えるまでに、更なる発展を遂げ、「養老が一番」と言われる町になる事を確信するとともに、町民の皆さまのご健康、ご多幸を祈念しつつ退任のご挨拶とさせていただきます。

